

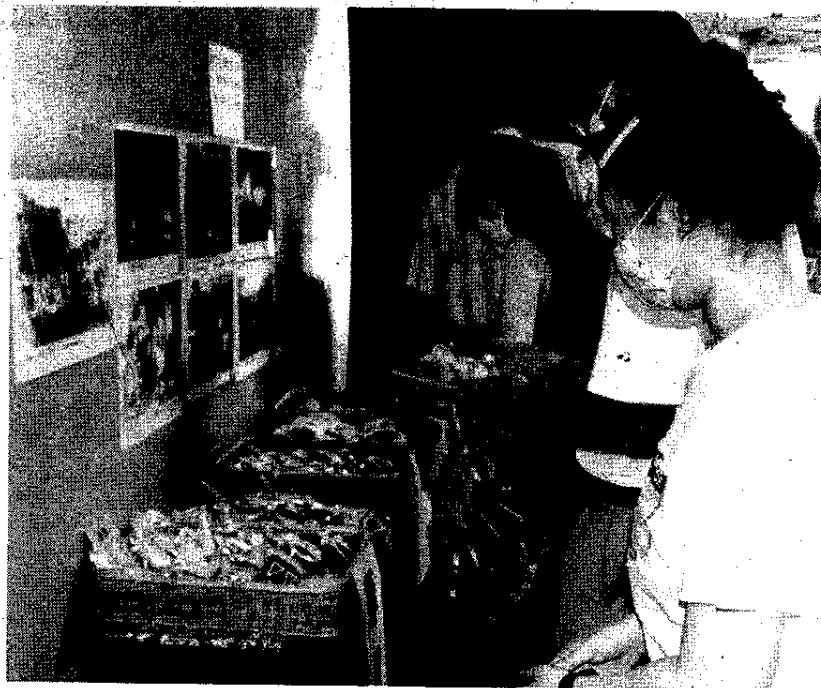


5 銘柄の防災菓子

地域の活性化を目指す市内の高校生による富士宮高校会議所(澤田明歩会頭)は22日、西町レトロ館で第4回「防災菓子『風祭』」試食会及び第5回西町小劇場を開催した。

富士宮市内の高校生が連携し、高校生の視点で地域振興や地方創生、地域ビジネスの手法について、実践を通して学ぶ活動を取り組んでいる。

「風祭」とは、風を



5種類の防災菓子を持ち帰って試食

鎮め、五穀豊穣を願う祭りから、「風祭川」と呼ばれる川もある。と願い、立春から数えど210日目の9月1日頃の防災の日を百十日と言われば、この時期は稻の開花に当たり、台風が多く到来する、田畠に被害を及ぼしてしまうことから、昔は各地で風祭が行われていた。そこで、同会議所では、3年前から、防災菓子「風祭」を発案して、市内のまるじゅう、新月堂、もちのき、華月、富岳館高校食品加工部に独自の「風祭」菓子の開発を依頼して、工夫を凝らした「風祭」菓子を味わい、防災意識を高めている。

同日は、「新たな災害

裏子『風祭』を食べな

がら立ち向かおう!!

ということで、20名

余りの参加者が、5種類の菓子を手に取り、自宅に持ち帰っての試食会が行われた。

続いて、県立富岳館

高校(小野聰校長)演劇部(稲葉もも部長・

3年生)が演ずる西町

小劇場が上演された。

演劇部員らは「西町か

ら笑顔で富士宮を元気

に!!」をテーマに、小

学生時代からの4人の仲間が、当時に戻って

互いに良い所を認め合

いながら、元気で行こうという内

容の劇を演じた。

続いて、男女の部員

が登場して、観客と共にリズミカルなダンス

を演じて会場内を楽し

ませた。高校生たちが

西町から笑顔を発信す

ることで、富士宮を元

気づけた。



ダンスを披露する富岳館高校の演劇部



出席者が揃い記念撮影

新たな災害新型コロナに防災菓子『風祭』を食べながら立ち向かおう!!

富士宮高校会議所プレゼンツ



西町から笑顔で富士宮を元気に!!を演じる富岳館高校演劇部

裏子『風祭』を食べながら立ち向かおう!!

3年生)が演ずる西町小劇場が上演された。演劇部員らは「西町から笑顔で富士宮を元気にして」をテーマに、小学生時代からの4人の仲間が、当時に戻って互いに良い所を認め合いながら、元気で行こうという内容の劇を演じた。

続いて、男女の部員が登場して、観客と共にリズミカルなダンスを演じて会場内を楽しめた。高校生たちが西町から笑顔を発信することによって、富士宮を元気づけた。

—亡くなつた方

佐野榮子(96) 黒田1番地の65
赤池俊洋(66) 万野原
小林楓葉(海渡) 原新田
藤浪晃史郎(弘友紀) 山留

稻葉敬二(96) 下条5
33番地の2
33番地の2
(日)と来月6日(日)
の2回、村山蕎麦の種蒔きを実施する。

△イベント=村山蕎麦の種蒔きは、楽しむため、参加は自由参加となっており、気軽に参加をと呼び掛けています。

△開催日=令和2年8月30日(日)と第2回目=9月6日(日)

△時間=8時集合

△集合場所=勝亦

△持ち物=長靴・軍

△主催=村山在来種

△後援=富士山手打

△後援=富士山手打</p